



ブラケット矯正装置の注意点

いよいよ矯正治療が始まります！今回ご使用いただく装置は固定式となっており、歯を確実に動かすことができる利点がありますが、その反面、違和感や、歯磨きがしにくいなどの不都合が生じます。注意事項等、十分にご理解の上お使いください。

1. どんな仕組みで歯が動くの？

装置は、歯についているブラケット（ボタンの装置）、メインのワイヤー、ブラケットとワイヤーを結ぶ細いワイヤーもしくは小さな輪ゴムから構成されています。矯正力がかかると、骨を溶かす細胞が集まり、骨が吸収されながら歯が移動していきます。移動した後は骨を作る細胞が集まってきて骨が作られます。歯が動く時には少し痛みが出ますが、この痛みがシグナル（刺激）になり細胞が働きます。

2. 痛みは？

歯が動き始めると、グーッと締め付けられているような、ジーンとした痛みを感じます。3日から1週間程度でおさまっていきませんが、強く咬んだり、固いものをかんだりすると痛みが強くなる場合があります。また装置で粘膜がこすれたりして傷や口内炎ができることがあります。咬み合わせが変わると顎の関節の違和感、顎の筋肉の違和感を伴うこともあります。食いしばりや、歯ぎしり、固い食べ物などによる強すぎる咬む力は、矯正力と合わさって過剰な力になることがあります。長く痛みが続いたり、歯根が短くなる原因になります。矯正治療中はマウスピースを使用したり、食べ物の固さ、大きさを調整していただく必要があります。通常は徐々に慣れていきますが、1週間以上しても痛みが改善しない、何かおかしいかもしれないと思われるときは、一度お電話していただきご来院をお願いいたします。

3. 歯磨き！！

今まで通りの歯磨きではすぐに虫歯になってしまいます。3面磨き法という磨き方を身に付けていただきます。さらに、細かい部分は補助清掃機具のワンタフトブラシ、歯間ブラシを使って磨きます。歯科衛生士と一緒に磨き方を練習しましょう！あまりブラッシングが悪い場合は装置の一時撤去も必要になります。虫歯ができてしまうと装置を外して治していただきますが、動かした歯の位置が戻ってしまい、何か月分かの治療ステップを戻らないといけません。無駄に治療期間が長くなってしまいます。それに、せっかく歯並びがキレイになっても虫歯の治し痕だらけの歯やかぶせ物になってはもったいないです！！

4. 外れた！折れた！曲がった！

ブラケットは最終的には外すものなので、歯にそれほど強く接着していません。かた焼きせんべいやフランスパン、するめなど固いもの、キャラメル、お餅など粘着性の強いものを食べると外れることがあります。咬みあわせの力によってもワイヤー・装置が破損する可能性もあります。装置が外れたり、ワイヤーが曲がったり、折れたりしたときはすぐにご連絡ください。

5. 治療期間

おおよその治療期間をお伝えすることがあるかと思いますが、歯の動きが悪い、食いしばり・歯ぎしりがある、想定外の事象が起きた、などの場合は、予定より長くかかりますので十分にご承知ください。